

J A 自己改革推進レポートについて

令和元年 6 月 2 4 日
J A 鳥取県中央会

1. J A の自己改革に関する組合員調査第 2 次調査の開始

組合員から J A 自己改革への評価や J A の事業に理解を得ることを目的とした、J A の自己改革に関する組合員調査の第 1 次調査は平成 31 年 4 月末で終了し、県下 J A の進捗率は約 41% だった。令和元年 5 月からは第 2 次調査が、第 1 次調査で実施できなかった組合員を対象に、令和元年 12 月まで実施される。

2. 農協改革集中推進期間が終了

令和元年 5 月末をもって 5 カ年にわたる「農協改革集中推進期間」が終了した。これを受け全中の中家会長は「自己改革の取り組みが日々実践されており、多くの実績が積み上がってきているが、事業・経営基盤の確立など課題は残されている」と述べた。

また 6 月 6 日、規制改革推進会議で決定された答申では、J A グループの自己改革に「一定の進捗が見られた」と評価し、農協改革集中推進期間の「終了」を明記した。一方で、農業所得の向上や資材価格の引き下げ、信用事業の健全な持続性などについては「課題が残されている」とし、引き続き J A 自己改革を促した。

3. J A 自己改革実践状況

(1) J A 鳥取いなばの取り組み

① 中学生向けの自転車交通安全教室開催

J A 鳥取いなばと J A 共済連鳥取は 5 月 14 日、鳥取県智頭警察署と連携し、八頭郡智頭町の町立智頭中学校で、自転車交通安全教室を開いた。全生徒 127 人の前で、プロのスタントマンが自転車での見通しの悪い交差点での事故など、実際に起こった事故を迫真の演技で再現した。生徒に事故の危険性を体感してもらい、交通ルールを守って安全に利用することの重要性を伝えた。



② 小学生が梨の摘果作業に挑戦

J A 鳥取いなば岩美支店は岩美南小学校と協力し、毎年 3 年生を対象に梨の栽培体験を行っている。同校の梨園で 5 月 16 日、摘果作業を行った。J A の担当者が、摘果するべき蕾の基準を指導すると、児童たちは真剣に蕾の状態を見て、作業を行っていた。



③ 令和元年度子ども農業教室開校

J A鳥取いなばは5月18日、子ども農業教室を開校し、同J A管内の園児や小学生ら34人が入校した。食農教育の一環として平成17年に開始して以来、最多の参加人数となった。講座は、野菜・水稻・果樹・畜産について体験や見学を行うカリキュラムで、年間10回を予定。講師は、地域の生産者やJ A営農指導員が務める。



④ 田植えで食育活動

J A鳥取いなば河原支店は5月28日、市立散岐小学校の5年生14人と一緒に、田植え体験を実施。河原町の生産者の水田で、目印の付いた紐に沿って「ミルキークイーン」を手植えた。秋には、児童たちが稲刈りや脱穀、調理実習を行う予定で、その際も河原支店が協力する予定。



(2) J A鳥取中央の取り組み

① 新規採用職員がボランティア活動に参加

6月1~2日、倉吉未来中心を主会場として行われた第19回SUN-IN未来ウォークで、本年度の新規採用職員のうち6名がボランティア活動を行った。

地域貢献活動の一環として一昨年から参加しており、職員は各チェックポイントや横断歩道などで笑顔で誘導や声掛けをして一緒に大会を盛り上げた。



② 生徒向け自転車交通安全教室の開催

6月5日、J A鳥取中央とJ A共済連鳥取県本部は、県警察本部倉吉警察署の協力のもと、倉吉北高等学校で「生徒向け自転車交通安全教室」を開催し、全校生徒約290名が参加した。これは交通事故未然防止活動の一環として、(株)倉田プロモーションのスタントマンが危険な自転車走行に伴う様々な交通事故の様子を再現した。迫力のある場面に生徒たちは驚きを隠せず、改めて交通ルールを守ることの重大さと事故の怖さを実感した。



河北支所の福井学支所長は「この活動を通じて地域との連携、絆を深め、交通事故ゼロを目指していく」と述べた。

③ 准組合員説明会の開催

6月11日、准組合員の支所運営委員向け説明会を開き、去る2月に策定した「准組合員にかかる意思反映と運営参画促進要領」を説明した。説明会には新たに運営委員に加わった准組合員26名のうち16名が出席し、主な取り組みとして准組合員のつどい(利用者懇談会等)の開催や、モニター制度の設置計画などを確認した。各取り組みの意見要望は、運営改善に向けた対応を検討し、広報誌などでフィードバックすることとした。



委員からは「准組合員と正組合員の資格や権利の違いを教えてください」「JAの活動をもっと多方面に発信してほしい」などの要望があった。

今後、准組合員に運営参画してもらい、積極的な発言による意思反映こそJA自己改革につながると期待する。

(3) JA鳥取西部の取り組み

① 「米フェスタ 2019 親子で田植え体験」

JA鳥取西部などで構成される米フェスタ実行委員会は伯耆町丸山で5月26日、「米フェスタ2019 おいしい米づくりにトライ!」を開いた。

米フェスタには親子連れやJA鳥取西部のこどもあぐりスクール生、関係者ら約300人が参加。田植えや魚のつかみ取り、米俵のふた「さんだわら」を投げるゲームなど自然の中での活動を通じ、農や食の大切さを学んだ。



参加者らは裸足で田んぼに入り、丸山集落営農組合員の指導の下、約20アールの「ふれあい交流田」にコシヒカリと古代米の苗を手で植え、子ども達は泥だらけになりながら笑顔で作業に取り組んだ。

谷本晴美組合長は「子どもたちには、田植えを通じて農や食の大切さを学んでもらい、親子の絆や地域との交流を深めながら健やかに成長してほしい」と話した。

今回植えた米は9月下旬に収穫する予定。

② 「年金友の会グラウンドゴルフ大会を開催」

JA鳥取西部年金友の会協議会は米子市の日野川河川敷で6月6日、第24回年金友の会グラウンドゴルフ大会を開催した。

各地区の代表68チーム(1チーム6人)が参加して日頃の練習の成果を競い合い、優勝を目指した。プレー中、ミスした仲間に「ドンマイ」と声をかけるなどフェアプレーも随所に見られた。



団体の部では淀江支所管内の淀江Aチーム、個人の部では崎津チームの岡田敏明さんが優勝し、同大会の上位12チームは7月19日に鳥取市の「白兔グラウンドゴルフ場」で行われる鳥取県大会に出場する。

(4) JA全農とつとりのJA自己改革の実践

① 生産コスト削減への挑戦

鉄コーティング直播技術の新規取組者への試行環境として播種機の貸出と種子供給体制を整え、担い手を支援。今年度は64ha、32件の取り組みとなった。(うち、播種機貸出8件)。今後は、施肥・防除対応等圃場巡回を通じ生産者フォローを実施する。



② らっきょうの漬け方講習会でPR

JAや生産部、市場など関係機関と連携し、京阪神地区を中心に30会場でらっきょうの漬け方講習会・料理講習会を実施している。らっきょうは近年、末端売価が上昇傾向にある中で失敗しない漬け方をPRしながら消費者により手にとりやすい売り場環境を整備するとともに、需要期を逃がさないよう取り組みを進める。



(5) 「JAバンク かんたん通帳」などの新サービス開始 (JA鳥取信連)

JAバンクは、株式会社マネーフォワードと連携し、JAバンクを利用するお客様向けに「JAバンク かんたん通帳」および「マネーフォワード for JAバンク」の取扱いを開始した。

「JAバンク かんたん通帳」は、JAネットバンクをご利用の個人のお客様が、口座の入出金明細や残高の情報などを、アプリで閲覧できるサービス。「JAバンク かんたん通帳」をご利用するで、いつでもどこでも簡単に口座を管理することが可能となった。店舗やATMに来店することなく残高照会や振込が可能で、忙しい時など大変便利である。「マネーフォワード for JAバンク」は、お金の見える化サービスでJAバンクのお客様に向けた便利な機能を拡充している。JAネットバンクを利用する個人のお客様の口座の入出金明細と残高の確認に加えて、国内の2,650以上の金融関連サービスの入出金・残高、クレジットカードや電子マネーの利用明細などの一括管理が可能となった。

JAバンクでは、フィンテック企業と連携した新たなサービスの提供により、顧客利便性の向上を図っていくこととしている。

(6) 「生徒向け自転車交通安全教室」の開催 (JA共済連鳥取)

※別添資料の通り

交通事故の未然防止活動の取り組み

「生徒向け自転車交通安全教室」の開催

JA 共済では、自転車乗用中の死傷者数が約8万5千人にのぼるなど、社会問題化していることを受けて、自転車交通ルールの順守による交通事故の未然防止のため、スタントマンによる自転車交通事故の実演を通じて、事故の衝撃や恐さを生徒に実感していただく自転車交通安全教室を県下3JA と連携し、鳥取県警察本部のご協力をいただき開催しています。

この教室は、自転車に乗る機会の多い中・高生に自転車による交通事故の衝撃や危険性を擬似体験してもらうことで、「交通ルールを守る大切さ」について再認識をしていただくことを目的として実施しており、スタントマンが傘さし運転や平行に並んでの運転などの危険な自転車走行、内輪差によるトラックの巻き込み事故を実演しています。

JA 共済は、交通事故未然防止を図り、次世代を担う子どもたちの育成と安全な生活づくりに貢献していきたいという思いから、今年度は6回の開催を予定しております。

JA 共済では、今後も事故のない社会づくりを目指し、交通事故の未然防止活動に取り組んでまいります。



傘を差しながら運転する危険運転の再現



自動車と自転車の衝突事故の再現



実演を見学する中学校の生徒

令和元年度 生徒向け自転車交通安全教室

- | | | |
|-----|-----------|------------|
| 第1回 | 5月8日(水) | 米子市立弓ヶ浜中学校 |
| 第2回 | 5月14日(火) | 智頭町立智頭中学校 |
| 第3回 | 6月5日(水) | 倉吉北高等学校 |
| 第4回 | 7月5日(金) | 鳥取県立緑風高等学校 |
| 第5回 | 10月17日(木) | 琴浦町立東伯中学校 |
| 第6回 | (日程調整中) | 鳥取県立米子高等学校 |